

第7回奈良県税制調査会 議事概要

1 日時・場所 平成26年10月21日(火) 16:15~17:15 第一応接室

(出席者) 委員 城戸英樹 奈良県立大学地域創造学部准教授
鈴木将寛 京都大学経済研究所准教授
林 宏昭 関西大学経済学部教授
県 荒井知事、前田副知事、浪越総務部長 他

2 議事内容

(1) ゴルフ場利用税について

薄暮、ハーフ利用等の場合の軽減制度についてご議論いただいた。税金が安くなったからといってゴルフ場利用者が増えるのか、ハーフプレイのニーズがあるのか等把握などを行って判断するべき、とのご意見をいただいた。

(2) 前回の税制調査会で提議された話題について

以下のテーマについて報告を行った。

- ・奈良県におけるパチンコの売上規模について
- ・土地流動化税制
- ・自動車通過税

(3) 自動車税身体障害者減免にかかる上限設定について

現時点では自動車車体課税に関する確定的な情報が無いため、判明している事実により設計した上限設定についてのコンセプトを説明した。

(4) 論文集「望ましい地方税のありかた」出版について

論文集のサンプルをお示しし、国等への税制改正要望時、または税務研修時等における資料として活用したい旨説明を行った。